

会員認定求め仲裁申請

県テコンドー協 全日本協は反発

県テコンドー協会（樋口悦夫会長）の津田佳輝理事長が全日本協会の正会員に認められないのは不当として、県協会が是

正を求めて日本スポーツ仲裁機構（東京）に特定仲裁を申し立てたことが7日分かった。

津田理事長が6日に申し立てた。特定仲裁はスポーツ団体内部の紛争解決策だが、審理には申し立てられた側の合意が必ず要。同機構によると、特

定仲裁で裁定が出た事例はなく、全日本協会が反発しており、審理入りは難しいとみられる。

県協会は昨年6月、同協会の責任者として津田理事長を正会員とするよう申請。これに対し、全日本協会の理事会は11月、「全日本協会から除名された樋口氏が県協会代表をしている」などとして申請を認めなかった。

と各地の協会に上下関係はない。われわれが決めた人物を正会員にするのが当然」と主張。全日本協会の金原昇会長は「除名された人物が会長を務めているのはおかしい。熊本では別団体の代表者が正会員に承認されている」と反論している。

樋口氏は「全日本協会

本協会は昨年3月に樋口氏の除名を決議し、県協

会所属選手を無期限の出場停止処分にした。選手は処分不当として同7月に仲裁を申し立て、同機構が処分取り消しを裁定。また全日本協会が樋口氏ら一部の正会員を資格停止にし、総会で議決権を行使させないことに対し、内閣府は一般法人法に抵触しているとして是正勧告を出した。

（内海正樹）

スポーツ速報
モバイル版
くまにちコム (有料)
アクセスはこちらへ
<http://kumanichi.com/qr/>

熊日. 2. 8.

2225R3

SANSPO.COM

熊本県テコンドー協会、会員認定求め仲裁申し立て

2014.2.7 19:59

熊本県テコンドー協会の津田佳輝理事長は7日、全日本テコンドー協会が同理事長を正会員として認めないことを不服とし、日本スポーツ仲裁機構に仲裁を申し立てた。

申立書によると、全日本協会は昇段申請の手続きをめぐって除名した樋口悦夫氏が依然として熊本県協会の会長を務めていることを問題視し、同県協会選出の津田氏を正会員として認めないとの決定をした。

津田氏は全日本協会の定款上も正会員としての資格には全く問題がないと主張している。（共同）